

ELECTRIC GRAND CP-80/CP-70B

世界のプロフェッショナルの熱い注目を集める、エレクトリックグランド。
グランドピアノアクションをそのまま採用した打弦式。タッチといい、サウンドといい、限りなくアコースティック。

音楽のジャンルを越え、世界のトップキーパーダーの称讃を欲しいままにしたエレクトリックグランド。73鍵タイプのCP-70B、そして88鍵タイプのCP-80。まさにグランドピアノそのままの音質とキータッチ。エレビならではのサウンドとエーシェン移動のし易さ、充分な音量。仕上げはコンピルトからスタジオでもライブでも、トップキーパーダーの期待を裏切らない眼を見れば、ノーマーンス。あなた自身の指さきて、ぜひお確かめください。

●打弦式の音源とグランドピアノアクション CP-70B、CP-80の音源弦をハンマーでたたく打弦式。グランドピアノと全く同じ仕組みのアクション機構を採用しているため、グランドピアノのときのキータッチ、タッチレスポンス、キータッチをたたく強さによる自然な音の強弱——も、指さきに感じる微妙なキータッチの重さも、少しも損なわれていません。キータッチはピアノと人の境点。タッチのちがいは、まさに演奏を左右します。



●音源もグランドピアノのままだ エレクトリックグランドのボディ構造は、グランドピアノとはほぼ同じ。そしてグランドピアノと最も異なる点は、生ピアノをマイクで集音した場合に起こりかね、ハウリングを発生させたこと。さらに、原音の徹底追求から誕生したヤマハ独自のピックアップが、弦の1本1本に対応して、澄みきった最高音から、重厚にしてクリアな最低音に到るまで完璧なポリウムバランスを誇ります。しかしなんと、打弦式を採用したことによる最大のメリットは、アコースティックな音色。立ち上がりから、減衰し、消滅するまでの倍音構成・音量変化は、これがエレクトリックピアノかと思ふほど、ダイナミックレンジの広さが魅力です。



●エレビだからエフェクトのかわりは抜群 エレクトリックグランドはポリウムコントロールをはじめベース、ミッド、トレブルのトーンコントロールを採用しています。たとえば、トレブルを低目にセット、ベースを上げればジャズピアノ風の鋭いサウンドをつくれます。逆にベースを上げてトレブルを上げれば、クラシカルで華麗なサウンドが誕生します。お好みのサウンドにセットしてください。CP-80には使用アンプの音質を、曲想に合わせて高音レベルを同時に切り換えることができるプリアンプレベルSWを装備しています。また、トレモロの速さ、深さを自由にコントロールできるステレオ方式のトレモロユニットや、エフェクターを接続できるパッチング端子も装備。左右に微妙に揺れ動くドラマチックなトレモロ、ワウワウ、フェイズシフトサウンドなど新しいサウンドをつくり、演奏時の音場コンディションに合わせてエフェクトは思いのまま。エレクトリックピアノならではの数々のサウンド効果が得られます。

●ライブとレコーディングの使い分け アウトプットはCH1、CH2のステレオ。それぞれに、フォーンジャック、キヤノンコネクターが取り付けられています。PAにラインで送る場合などはキヤノンコネクター側を利用できる、便利なシステムです。アンプスピーカーはエレクトリックグランドならではのタッチレスポンスを最大に生かすため、ダイナミックレンジの広い機種を選んで使えば効果的です。CP-80、CP-70B用として最適な、ヤマハのワーアップ内蔵のPAスピーカー(A4115H)などをお勧めします。



●キャリアブルタイプです 本体は鍵盤部分とフレーム部分で、上下にセパレート。つまり、アクション部を2分し付属品といっしょに、ふたつのケースに納めるといふ画期的な構造をもっています。これで、演奏旅行に伴う移送の問題も、ぐくぐく解決。あくまでプレイヤビリティを重視した設計です。

●定期的な調律をお勧めします エレクトリックグランドはピアノ本来の音色とタッチを実現するため、アコースティック同様ピアノ弦をハンマーでたたくという音源方式をとっています。つねに最良のコンディションを保つため、定期的な調律をお勧めします。

●電源部 メインテナンスの点、また万が一のトラブルに備えて、電源部はボディの外に出されました。

